

News Release

2025. 1. 28

阪急阪神ホールディングス株式会社

グループ経営企画室 広報部

〒530-0012

大阪市北区芝田一丁目16番1号

Tel:06-6373-5092 Fax:06-6373-5670

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

阪急阪神ホールディングスグループ

サステナビリティ宣言

～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

「ゼロカーボンベースボールパーク」を資金使途とする グリーンファイナンス・フレームワークを策定



ゼロカーボンベースボールパークのメインビジュアル

阪急阪神ホールディングス（以下、「当社」）は、阪神電気鉄道と阪神タイガースによる、阪神タイガース新ファーム施設を含む小田南公園（以下、「ゼロカーボンベースボールパーク」）の整備計画に係る資金調達を目的に、グリーンファイナンス・フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）を策定しました。本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）が定める「グリーンボンド原則 2021」等との適合性を評価するものとして、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、第三者評価を取得しています。

ゼロカーボンベースボールパークに係るプロジェクトは、「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」の6つの重要テーマのうち「①安全・安心の追求」「②豊かなまちづくり」「③未来へつながる暮らしの提案」「⑤環境保全の推進」に該当するプロジェクトです。

ゼロカーボンベースボールパークは、2022年4月26日に環境省から第1回「脱炭素先行地域」に選定されています（尼崎市と阪神電気鉄道による共同提案）。当社グループは、尼崎市とともに日本一の環境先進都市を目指し、脱炭素社会や循環型社会の実現に資する新たなベースボールパークを創ってまいります。

本フレームワークの概要は次ページ以降のとおりです。

本フレームワークの概要

名 称	「ゼロカーボンベースボールパーク」に係るグリーンファイナンス・フレームワーク
第三者評価機関（外部評価）	株式会社格付投資情報センター（R&I）
ストラクチャリング・エージェント※1	SMB C 日興証券株式会社

適格プロジェクト (資金使途)	GBP※3 プロジェクト分類	適格クライテリア※4
「ゼロカーボンベースボールパーク整備計画」に沿った阪神タイガースファーム施設※2の移転	グリーン エネルギー効率 (省エネルギー性能の高い建築物の新築)	グリーンファイナンス実行時点において有効な以下のいずれかの認証もしくは評価を取得・更新した建物、または将来取得・更新予定の建物の建設 ・ZEB、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented ・建築物・住宅の省エネ性能を表す指標（BEI等）で、ZEB・ZEH基準以上の水準相当

※1 「ストラクチャリング・エージェント」とは、フレームワークの策定やセカンドオピニオンの取得等を通じて、グリーンファイナンスの実行支援を行う者のことです。

※2 適格プロジェクトの対象となる阪神タイガースファーム施設は以下の3施設です。

日鉄鋼板 SGLスタジアム 尼崎	室内練習場	選手寮兼クラブハウス

※3 「GBP」とは、Green Bond Principlesを略したもので、国際資本市場協会（ICMA）の定めるグリーンボンド原則のことです。

※4 資金使途となる適格プロジェクトを判断するための基準のことです。

■グリーンファイナンス・フレームワークの開示先 URL

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/ir/stock/sustainability-bond/greenbond02/>

■「株式会社格付投資情報センター（R&I）による第三者評価」の開示先 URL

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/greenfinance/index.html>

以上

【添付資料】ご参考 「ゼロカーボンベースボールパーク」について

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

2025年3月に、尼崎市的小田南公園に、日鉄鋼板 SGL スタジアム 尼崎、室内練習場、選手寮兼クラブハウス、タイガース練習場を新設し、現在の西宮市鳴尾浜にある阪神タイガースのファーム施設を移転します。

また、阪神タイガースの選手が試合や練習に励む雰囲気を身近に感じながら野球を楽しめる小田南公園野球場や地域の憩いの場としての芝生広場、散歩やランニングができる周遊コースも設置するなど、ここにしかない魅力ある公園が誕生します。

さらに、太陽光発電・蓄電池の導入や廃棄物発電の活用、省エネの徹底による「脱炭素化」をはじめ、ペットボトル・プラスチックカップの回収・リサイクルや雨水・井水の活用といった環境に優しい取組を行う「ゼロカーボンベースボールパーク」として整備・運営することで、脱炭素社会や循環型社会の実現に資する新たなベースボールパークを創っていきます。

ゼロカーボンベースボールパークに係る環境への主な取組については以下のとおりです。

太陽光発電・蓄電池の導入	省エネの徹底（ZEB Ready化・ZEB Oriented化）	クリーンセンターの廃棄物発電の活用
		
バイオマス製品の活用	ペットボトル・プラスチックカップの回収・リサイクル	雨水・井水の活用
		
現公園内にある樹木（イチョウやウメなど）の移植	公共交通機関を利用した来場の呼びかけ実施	太陽光発電量や二酸化炭素削減量の見える化
		

※ゼロカーボンベースボールパークの詳細：<https://baseballpark.hanshin.co.jp/>

以上